

2025年6月24日

国際的に権威ある独デザイン賞
『Designed by Nature Clarinets』が
「Red Dot デザイン賞」デザインコンセプト部門で受賞
～ 天然木材の多様性、個性を生かしたプロトタイプのクラリネット ～

ヤマハ株式会社(以下、当社)が製作するプロトタイプ『Designed by Nature Clarinets』シリーズの『KINTSUGI』、『SHIRATA』(英語名 Sapwood)、『FUMOKU』(英語名 Grain)、『IRIKAWA』(英語名 Bark)が、ドイツのデザイン賞「Red Dot デザイン賞デザインコンセプト2025」を受賞しました。

「Red Dot デザイン賞」は、ノルトライン・ヴェストファーレン・デザインセンターが主催する国際的に権威のあるドイツのデザイン賞で、「プロダクトデザイン」「ブランド&コミュニケーションデザイン」「デザインコンセプト」の3部門から構成されます。

「デザインコンセプト」部門は、優れた製品の先駆けとなる新しいデザインやコンセプト、革新性をもつプロトタイプをはじめ、さまざまな開発段階の作品を評価するものです。当社は、2017年の、音を奏でる電動アシスト車いす『&Y (アンディ) 01』(ヤマハ発動機株式会社との共同制作)、2024年のエレキギターのコンセプトモデル『アップサイクリングギター』および体験型インスタレーション『e-plegona (エプレゴナ)』(ヤマハ発動機株式会社との共同制作)に次いで、累計で4件の受賞となりました。



『Designed by Nature Clarinets』
左から『FUMOKU』『SHIRATA』、右上『IRIKAWA』、右下『KINTSUGI』

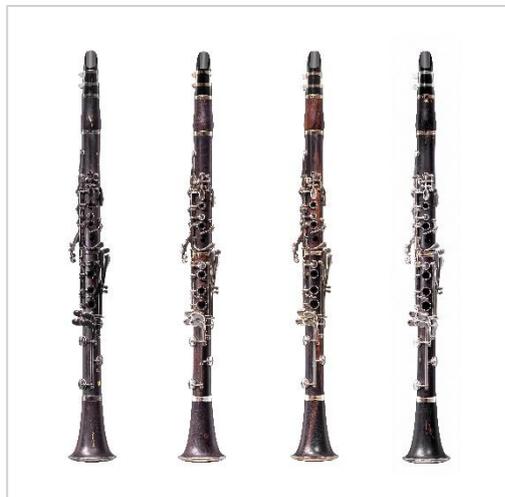
<受賞作品 概要>

プロトタイプ『Designed by Nature Clarinets』シリーズ

『KINTSUGI』、『SHIRATA』(英語名 Sapwood)、『FUMOKU』(英語名 Grain)、『IRIKAWA』(英語名 Bark)『Designed by Nature Clarinets』は、自然が生み出す唯一無二の特徴を生かして製作されたクラリネットのプロトタイプです。均一性が重視される生産工程では使用しない木材をあえて採用し、木材の成長過程で生じるひび割れや欠け、穴など天然の木材の多様性を生かして製作した個性的なクラリネットです。

『KINTSUGI』は、伝統的な日本の修理技術である「金継ぎ」を用いて、修復部を金で繕い装飾しています。また『SHIRATA』『FUMOKU』『IRIKAWA』は、白太(しらた)、斑杳(ふもく)、入皮(いりかわ)※などの自然由来の特徴を木材の多様な個性として引き立たせたモデルです。

クラリネットの製作に使われるアフリカ原産のグラナディア材は、楽器として使用できるまでに70～100年を要します。当社は『Designed by Nature Clarinets』の製作を通して、限りある自然素材を効果的に活用しながら木の個性と向き合い、それぞれの持ち味を生かす方法を模索しています。また、資源の有効活用を目指す研究をはじめ、木片を活用する成形木材技術や汎用木材を活用する積層木材の研究も進め、従来の無垢材に代わる新たな素材の開発にも取り組んでいます。



『Designed by Nature Clarinets』

左から『KINTSUGI』 『FUMOKU』 『SHIRATA』 『IRIKAWA』

※白太（しらた）：木材の樹皮に近い白い部分

斑杓（ふもく）：樹木の成長環境によって生じる繊維のねじれや斑、紋状の模様

入皮（いりかわ）：成長過程で樹皮に傷がつき、組織が成長せずに皮ごと巻き込まれた部分

<関連サイト>

- ・ヤマハデザインサイト <https://www.yamaha.com/ja/tech-design/design/>
- ・Red Dot デザイン賞 公式サイト <https://www.red-dot.org/>
- ・2023年12月6日 ニュースリリース
木材の多様性に向き合う『ダイバーシティクラリネット』を展示
https://www.yamaha.com/ja/news_release/2023/23120601/
- ・『ダイバーシティクラリネット』
<https://www.yamaha.com/ja/stories/environment/gakkinoki/prototype/003/>
- ・「Designed by Nature Clarinets KINTSUGI モデル」をジャパン・ハウス サンパウロにて展示
<https://www.yamaha.com/ja/tech-design/design/events-topics/japanese-principles/>

* 文中の商品名、社名等は当社や各社の商標または登録商標です。

* 掲載情報はすべて発表日現在のものです。発表日以降に変更となる可能性もありますので予めご了承ください。

■ 報道関係の方のお問い合わせ先

ヤマハ株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 担当：矢幡

TEL. 050-3148-8660

ウェブサイト https://www.yamaha.com/ja/news_release/（取材申し込みや広報資料請求が可能です）
